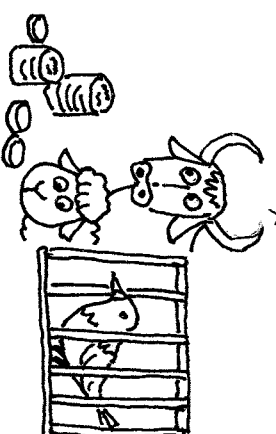


いずみのひろば

2022年2月号
日本基督教団 聖公会
No.517 聖公会



「神殿から商人を追い出す」

マルコによる福音書 11:15-19

「イエスは神殿の境内に入り、そこで売り買っていた人々を追い出し始め、
両替人の台や鳩を売る者の腰掛けをひっくり返された。」

どうして、イエス様はこんなことをしたのでしよう？

当時のエルサレムの神殿の境内は、祭司の庭、イスラエルの男の庭、女の庭に仕切られていて、一番外側に異邦人つまり外国人の庭がありました。

両替屋さんと鳩屋さんは、この異邦人の庭で商売をしてたんです。

異邦人たちは、せっかく礼拝にきても、さわがしくて静かにお祈りもできなかったことでした。

また商売をする人たちは、お金もうけのことばかり考えていました。もちろん礼拝に来る人たちにとって、礼拝用のお金「シエケル」や傷のない鳩を用意することは簡単ではありませんでした。なので、商売人たちがいれば、買って準備ができるので、そのこと自体はとっても便利だったんです。

ですが、商売をする人たちは、このシエケルや鳩といった捧げ物に利益を上乗せして商売をしていました。しかもかなりの額を。

神殿は礼拝をする場所です。それなのに、商売人たちが神殿を「強盗の巣にしてしまった」とあります。つまり、神さまを礼拝をする神殿なのに、そこで神さまのことを考えないで、お金もうけのことばかり考えられていたのです。しかも、せっかく礼拝にきた異邦人たちもすっかり追いやられ、相手にされていませんでした。それでイエス様は台や腰掛けをひっくり返すようなことをされたのですね。

神殿なのに、そこでは神さまのことも、一緒に礼拝をしている隣人のことも、すっかり忘れられていたのです。それよりもお金もうけや自分のことのほうがずっと大事になっていたのです。

神様は私たち一人ひとりを神様の「わたしの家」に招いてくださり、神様は私たち一人ひとりのことを愛してくださっています。この神さまを心から礼拝し、神さまを愛し、隣人を愛する人になれますように。

（おはなし しものおおき 霜野直紀 先生）